

山野井たかし後援会だより

No.44

後援会連絡所	〒323-0807 小山市城東3-14-5 0285-20-5000	発行責任者	津布久 正夫
ホームページ	http://homepage3.nifty.com/yamanoi-takashi/	編集者	山野井 孝
メールアドレス	yamanoi.takashi@tvoyama.ne.jp	発行日	2014年1月1日

新年あけましておめでとうございます。

日頃からの皆様のご支援に、心より感謝申し上げます。

市民が安心して暮らせる小山市を目指して、取組んでまいりますので、変わらぬご支援をお願いいたします。

平成25年第6回定例会が11月28日から12月20日の日程で開催され、全議案が原案通り可決されました。

本会議初日には10月17・18日に開催した決算審査特別委員会の審査について委員長報告を行いました。

採決の結果、起立多数で原案の認定を可と決しました。



【主な議案】

<平成25年度小山市一般会計補正予算（第3号）>

今回の補正の主なものは、職員給与の減額および社会保障費の増額です。

国家公務員給与を2012年度から2年間、7.8%カットしており、政府が地方公務員給与の減額を求めてきたことに対応したものとなっています。

一方、社会保障費は、当初予算では財源の不足により抑えた予算として計上しているため、12月議会で大幅な増額補正を行うことが通例となっています。

また、債務負担行為補正に、あけぼの保育所の仮園舎の整備費7,700万円計上されていますが、仮園舎は約2年間で取り壊してしまう無駄な事業となっています。

最終日の本会議に、本事業を削除する修正案が出されましたが、採決の結果、賛成少数で否決されました。

このような無駄な事業にさえ反対することができない議員が多いことが残念でなりません。



あけぼの保育所(神鳥谷)

<指定管理者の指定について>

小山市では、公の施設として学童保育館を指定管理者に委託しています。

市が設置している27箇所の学童保育館のうち9箇所が保護者会に、残りの18箇所がNPO法人『小山市学童保育の会』に委託されています。今回の指定管理者の指定は、4箇所が継続、1箇所が新規で、いずれもNPO法人に指定するものであります。

指定管理者については、副市長、関係部長及び学識経験者で構成する選定委員会により選定を行い、その結果を受けて議会に議案として上程されるもので選定で使用した実績評価書等が議案参考資料として提示されます。合計5箇所の指定管理者の選定にあたって、わずか1時間という短い期間での審査であること、個々の学童保育館の収支が赤字となっていることを誰も指摘していないことなど、理解し難い内容となっています。

私は、学童保育館は指定管理者には合わない施設だと思っており、以前より指摘してきました。指定管理者制度は、委託する団体に大きな負担をかけることから、収益性のない施設にはそぐわない制度であると考えています。

また、入所に関しても指定管理者に丸投げした形となっており、市が全く関わっていないことも大きな問題であると思います。

学童保育を利用する子どもたちが、放課後の家に帰るまでの時間を安心して過ごせる施設として、市が責任をもって運営することを求めています。

＜小山市に対する小山市小山東部第二土地区画整理事業地内保留地の購入要望について＞

継続審査となっていた、陳情第25-4号について、審査を行い、不採択とすることに決しました。

本陳情は、東部第二土地区画整理事業地内の保留地を小山市が購入し、公共施設等を整備してほしいという主旨のものです。この保留地は商業地として売り出されていること、および小山市が公共施設を整備する計画がないとの答弁を受けて不採択としたものです。できれば住宅地として早急に販売し、組合が解散できるようにすることを意見として申し上げました。

【議会報告会を開催】

第3回議会報告会を市内6箇所で開催しました。

私は第3班で大谷地区（大谷公民館）と豊田地区（豊田公民館）の報告会に出席しました。また、地元である小山地区（小山城南市民交流センター）の報告会には、傍聴で出席しました。

9月議会の各常任委員会、予算・決算審査特別委員会の審査の内容を中心に報告をし、最後に意見交換を行いました。

皆さんからの意見や要望は、執行部にしっかりと伝えていき、市民の要望に応えることができるようにいたします。

また、次回からは市内9箇所で開催することになりました。

【公共施設等整備調査特別委員会を開催】

市役所庁舎、地区公民館、出張所、小中学校、市営住宅などの公共施設の今後のあり方、整備の方法などを議会として検討するための特別委員会を設置しました。

本特別委員会は、議長を除く28名で構成し、委員長には会派の石島政己議員が選出されました。

第1回の委員会を11月8日に開催し、まずは小山市が管理している公共施設を把握することを優先するため、執行部からの資料提出を求めました。

市執行部では、公共施設の長寿命化を進めるため、各施設ごとの長寿命化計画を策定し、それを統合した形での長寿命化計画を策定しようとしています。長寿命化だけでなく、統廃合や新設、改修などそれぞれの施設の状態や今後のあり方などを総合的に考えながら整備を進める必要がある統合した形での長寿命化計画を策定しようとしています。長寿命化だけでなく、統廃合や新設、改修などそれぞれの施設の状態や今後のあり方などを総合的に考えながら整備を進める必要があると思いますので、公共施設白書という形でまとめていきたいと思っています。

まずは最優先で教育施設（小中学校）の整備を進めていくように、執行部に働きかけていきます。

【南三陸町を視察】

東日本大震災の被災地である『南三陸町』に行きました。

現地では、被災者でもある南三陸町社会福祉協議会の猪又事務局長および避難所になったホテル観洋の女将、阿部憲子さんの話を聴き、被災の状況や復興に向けた取り組みなどを説明していただきました。

また、南三陸町の防災拠点であった防災対策庁舎で献花をして犠牲者のご冥福をお祈りしました。

その後、高台にある志津川中学校から被災地の全景を見て改めて津波被害の大きさを感じさせられました。



土地区画整理事業地内保留地



大谷公民館での報告会の様子



小山城南市民交流センター



小山市消防庁舎・小山市消防署



被災した南三陸町防災対策庁舎